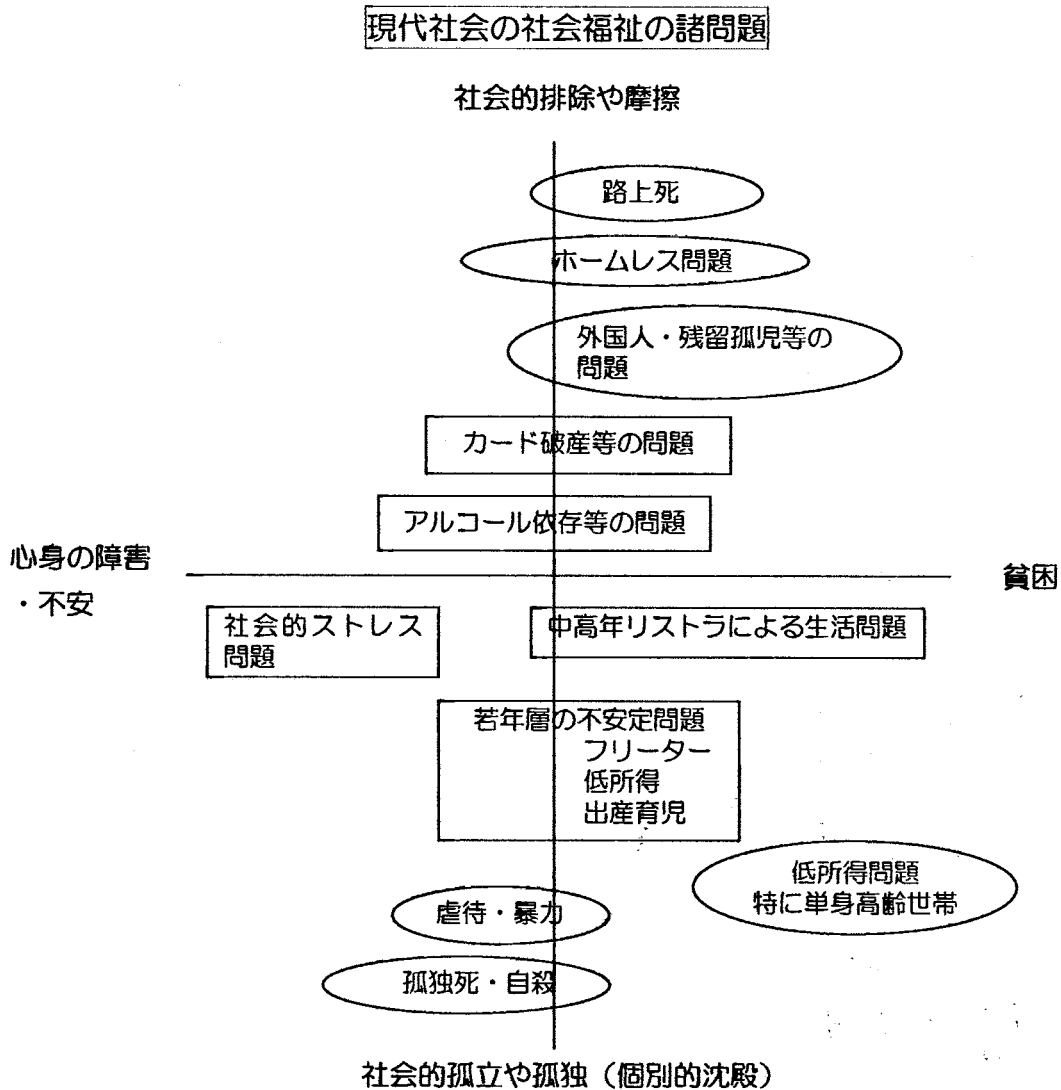


<「要援護者」とは>

従来の社会福祉は主たる対象を「貧困」としてきたが、現代においては、

- ・ 「心身の障害・不安」(社会的ストレス問題、アルコール依存、等)
- ・ 「社会的排除や摩擦」(路上死、中国残留孤児、外国人の排除や摩擦、等)
- ・ 「社会的孤立や孤独」(孤独死、自殺、家庭内の虐待・暴力、等)

といった問題を重複・複合化して抱える人を対象として捉える必要がある。



- \* 横軸は貧困と、障害・不安に基づく問題を示すが、縦軸はこれを現代社会との関連で見た問題性を示したもの。
- \* 各問題は、相互に関連しあっている。
- \* 社会的排除や孤立の強いものほど制度からまれやすく、福祉的支援が緊急に必要。

出典：「社会的な援護を要する人々に対する社会福祉のあり方に関する検討会報告書」  
厚生省社会的な援護を要する人々に対する社会福祉のあり方に関する検討会  
(平成12年12月8日)